

路地百選推薦書

推薦者氏名：河野泰、大和田清隆

推薦する路地（のまち）の名称	撞木の図子（しゅもくのずし）
所在地	京都市中京区観音堂町

【推薦する理由（路地のよいところ）】

四条通りから一步入ったところにある古くからの図子（通り抜けできる路地。辻子。突抜）で最近は飲食店が立地し「ビストロ小路」として若者で賑わっています。四条通のアメリカンスタイルのカフェなど様変わりする中、少し入ると一転「和・粋」の空間へと誘ってくれる、再生路地の象徴的な空間です。

【写真添付】



路地	面積	約 11 ha	路地の延長	約 60 m
まちの成り立ち、まちの概要	特色等	以前は、呉服関係のお店や風呂屋があったりした、落ち着いた生活空間でしたが、京都の中心部で四条通に近いということもあり、20 年ほど前あたりから町家を活かした飲食店が立地している。丁字型をしていることから撞木図子と称されている。) ※京都では路地（ロジではなく、「ろーじ」と延ばして言います）は、通り抜けの出来ないいわゆる「袋路」を意味し、今回の了頓図子町とか、観音堂町などは「図子（辻子）」とか「突抜」と言って区別します。「図子・突抜」は、秀吉による計画的な街路改造（半丁町割）とは別に、自然発生的に低密度な市街地（区画）の中を有効利用しようとして通路を通したものが発生起源のようです。)		